

PLAN	No.	15	1	事務事業名	収納事業			細事務事業名	徴収事務・管理事務			公的関与	1	シート作成日	平成31年6月12日		
	課名	収納課			グループ	管理			担当課長名	細野 英樹			シート作成者名	細野 英樹			
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業			<input type="radio"/> 3 整備事業			<input type="radio"/> 5 施設の管理運営			事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営			<input type="checkbox"/> 3 全部委託		
		<input type="radio"/> 2 施設の建設			<input type="radio"/> 4 経常的事務事業							<input type="checkbox"/> 2 一部委託			<input type="checkbox"/> 4 補助等		
	総合計画	政策目標	7 該当なし						実施計画			事業の開始・終了					
		施策項目							<input checked="" type="radio"/> 1 該当			年度 ~ 平成			年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
		主要施策							<input type="radio"/> 2 非該当			根拠法令等			国税徴収法・地方税法		
	個別計画																
	事業の目的	対象(誰を・何を)						意図(どういう状態にしたいのか)									
		市税滞納者						納税義務の公平性の観点から滞納処分を強化し、市税の収入確保を図ります。									
事業の内容	滞納者への臨戸や催告書等の送付により、納税に対する意識を掘り起こし、納期限内納税を推進します。納税がない場合は、預貯金・不動産・動産等の財産調査を実施して、換価可能な財産を差し押さえつつ、納税交渉を行います。利便性の高い口座振替やコンビニ納付による納税を推進します。																
成果指標	①	指標名	市税収納率						②	指標名							
		指標設定の考え方	4税(市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)の納税管理事務及び督促・催告・臨戸・差押等の徴収事務によって、公平な税負担と市税の確保に努め、収納率の向上を目指します。							指標設定の考え方							
		平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度	目標平成 30 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 ※ 年度		目標平成 30 年度							
		実績	94.9	実績	95.4	目標	※	目標		94.0	実績		実績		目標	※	目標
		目標	92	目標	※	目標	※	目標			目標		目標	※	目標		
DO	予算費目	会 計	一般会計						款	2	総務費	項	2	徴税费	目	2	賦課徴収費
	直接事業費			平成 29 年度決算額				平成 30 年度決算額				平成 ※ 年度予算額					
		国・県支出金	千円						千円				千円				
		地方債	千円						千円				千円				
		その他特定財源	4 千円						千円				千円				
		一般財源	7,669 千円						6,672 千円				千円				
	計(A)	7,673 千円						6,672 千円				0 千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費		7,000 人				8,227 人				人					
				48,300 千円				56,766 千円				0 千円					
		臨時職員工数・経費		2.606 人		4,170 千円		1.686 人		2,698 千円		人		0 千円			
全体事業費(A+B)		60,143 千円						66,136 千円				0 千円					

CHECK	チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価				
	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少ない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	財産の確保及び負担の公平性から、市に必要な事業であり、前年度事業結果を踏まえ、課題等を洗い出し、方策を練ることが重要です。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性がない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>		はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ	<input checked="" type="radio"/>		はい	<input type="radio"/>	いいえ
	4. 住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	<input type="radio"/>		はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	滞納を累積させないことが重要と考え、初期滞納者には、早期の財産調査と速やかな滞納処分を実施します。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っている。					<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている		現年課税分及び滞納繰越分を合わせた収納率が、前年度を上回る成果を上げています。	<input type="radio"/>	目標に比べて劣っている			
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていない。					<input type="radio"/>	あまり上がっていない			<input type="radio"/>	あまり上がっていない			
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成している。					<input type="radio"/>	概ね達成している			<input type="radio"/>	概ね達成している			
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成している。					<input checked="" type="radio"/>	十分達成している			<input checked="" type="radio"/>	十分達成している			
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ	限られた職員の中で、現在の収納率を維持するためには、さらなる効果的かつ効率的な滞納整理事務の実施手段の検討を必要とする。	<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ		<input checked="" type="radio"/>	はい	<input type="radio"/>	いいえ
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ		<input type="radio"/>	はい	<input checked="" type="radio"/>	いいえ
ACTION	一次評価					二次評価								
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 2	総合評価 A	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 2	総合評価 A			
	今後の方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等	<input type="radio"/> 縮小	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 方法改善	<input type="radio"/> 民間委託等					
		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止		<input type="radio"/> 縮小	<input type="radio"/> 統合/終期設定	<input type="radio"/> 廃止/休止						
	当面の課題	インターネット公売や県の共同公売への参加など、差押えた財産を換価し、滞納市税に充当する実績を積むことです。					二次評価での指摘事項(部長の総括意見)							
課題解決のための改善計画	ノウハウを持った職員の配置又は育成により、公売を実施できる課内の体制を整備します。					税の公平性の観点から、適正な滞納処分を実施し、収納率の向上を図っていくことが必要です。								
備考														